

# 北東アジア動向分析

## 中国

### 2000年1-9月期の中国経済～高水準を維持～

中国の2000年1-9月期の経済成長率は8.2%を記した。今年に入ってからの経済成長率は、好調な輸出と内需拡大策による投資増を背景に、1-3月期8.1%、1-6月期8.2%と高水準を維持しながら安定的に推移してきた。

1-9月期の成長率を産業別にみると、第一次産業は前年同期比2.2%、第二次産業は同9.8%、第三次産業は同8.1%であった。情報通信機器を中心とした工業生産の伸び、観光業や不動産業の高成長によるサービス産業の伸びを受け、第二、三次産業は前年同期の伸び率を上回った。一方で、作付面積が減少したことや干ばつなどの被害により農業生産は伸び悩み<sup>1</sup>、第一次産業の伸び率は前年同期を下回る結果となった。

同期の主要経済指標をみると、固定資産投資は住宅建設など不動産投資の伸びを中心に回復基調を維持し、消費の動向を示す社会消費品小売総額では、政府の各種消費刺激策により、都市部の伸びを中心に全体では約10%の伸び率を維持している。物価上昇率は中国がインフレの指標としている商品小売物価では1.9%と前年同期割れが続いているが、食品類の価格が上昇している他、サービスも含めた消費者物価では0.1%のプラスの伸びを記すなど、デフレは緩やかに収束傾向へと向かっている。

対外貿易では欧米経済の安定とアジア周辺国の本格的な景気回復及び輸出振興策などにより、輸出入共に30%台後半の高成長を遂げている。また、直接投資は、実行ベースでは依然前年同期を下回る水準であるが、契約ベースでは依然20%を超える伸び率で推移している。

10-12月期は、8月末<sup>2</sup>に承認された500億元の追加国債の発行による内需拡大等の効果に加えて、第3四半期までの

直接投資契約額の伸びの高さから投資拡大が期待されている。また、改革が進行中の国有企業においても利潤総額が昨年の約2倍に増大しているといった好材料もある。こうした状況から今年の経済成長率は当初見込みの「7%前後」を上回るのは確実で、8%に達するとの見方も出ている。いずれにしても今年は8年ぶりに前年の成長率（7.1%）を上回る可能性が高い。

### 第10次五ヵ年計画（「10・5」計画）

今年が第9次五ヵ年計画（「9・5」計画：1996～2000年）の最終年にあたり、来年からは第10次五ヵ年計画（「10・5」計画：2001～2005年）がスタートする。10月に開催された5中全会（中国共産党第15期中央委員会第5回全体会議）で、「10・5」計画の骨組みとなる「第10次五ヵ年計画制定に関する提案」が審議・採択された。これによると、「10・5」計画では、経済構造を戦略的に調整し、2010年までに国内総生産（GDP）を2000年から倍増させることを基本目標としている（年間平均成長率約7%）。こうした持続的発展に向けて、国民経済の全体的な質を向上させ、国内需要を拡大し、国際競争力を強化する方針が打ち出された。また、地域格差是正に向けた「西部大開発戦略」についてはその実施が明記され、WTO加盟にしたがって新たな段階へ突入する対外経済関係については、さらに対外開放を押し進め、開放型経済を発展させるとしている。

「10・5」期は「9・5」期で基盤を築いた社会主義市場体制の改善と対外開放の拡大において重要な時期となり、中国の経済社会の発展目標として重要な意味合いを持つ「10・5」計画の詳細が注目される。

（ERINA調査研究部研究員 川村和美）

		1990年	1995年	1996年	1997年	1998年	1999年	2000年		
								1-3月	1-6月	1-9月
GDP成長率	%	3.8	10.5	9.6	8.8	7.8	7.1	8.1	8.2	8.2
鉱工業生産伸び率	%	7.8	20.3	16.6	13.1	10.8	8.9	10.7	11.2	11.6
固定資産投資伸び率	%	2.4	17.5	14.8	8.8	13.9	6.3	8.5	12.1	12.9
社会消費品小売総額伸び率	%	2.5	26.8	20.1	10.2	6.8	6.8	10.4	10.1	9.9
商品小売物価上昇率	%	2.1	14.8	6.1	0.8	2.6	3.0	1.9	1.9	1.7
輸出入収支	億ドル	87	167	122	403	436	291	52	124	192
輸出伸び率	%	18.2	22.9	1.5	20.9	0.6	6.1	39.1	38.3	33.1
輸入伸び率	%	9.8	14.2	5.1	2.5	1.5	18.2	41.0	36.2	38.7
直接投資額伸び率(契約ベース)	%	17.8	827	10.4	19.7	30.4	18.9	27.1	24.6	27.9
(実行ベース)	%	2.8	11.1	11.2	8.5	0.5	9.7	2.7	7.5	-
外貨準備高	億ドル	111	736	1,050	1,399	1,450	1,547	1,568	1,586	1,601

(注)前年同期比  
はデータ未入手

(出所)中国国家统计局、海関統計、各種新聞報道より作成

<sup>1</sup> 中国農業省の発表（10月15日）によると、今年の食糧生産量は4億9,000万トンで、2年連続の減産となる見通し。

<sup>2</sup> 第九期全人大常務委員会第十七次会议で承認。主に中西部の建設プロジェクト向け。